

「全国に誇れる御成門中学校を創る」—世界に発信する—



# 御成門だより

平成30年9月1日 発行

第5号

発行責任者

港区立御成門中学校

校長 佐藤 太

## 教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」  
〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-kyo.ed.jp

## Be Myself・・・人は個と集団の往来で成長する

校長 佐藤 太

大変暑かった8月が過ぎ、2学期がスタートしました。今年の夏は、右回りの進路をたどった台風12号や連日猛暑日の記録更新、甲子園100回大会での金足農校大進撃、アマチュアボクシング連盟の不正疑惑ニュース、アジア競技大会の男子400mリレー金など、さまざまなニュースもありました。

さて、生徒の皆さん、42日間の夏休みはいかがでしたか？ 夏休みでの目標やチャレンジが達成できたでしょうか？ 学校のチャイムや時間割がない分、一人でプランを立て取り組む日々だったと思います。

私は、夏休みに山本周五郎や藤沢周平など私の好きな作家の読書や一人旅行、映画鑑賞など多くの時間をもつことができました。夏休みを振り返ってみると、一人になって自分自身と向き合う時間が多くあり、さまざまな事・物を考えたり、感じたりする機会があり、とても意義深い日々を送ることができました。

普段の学校の学期中には、私自身、御成門中の教職員やPTA・地域に方々と共に仕事をしています。多くの方々と協力したり、話し合っ知恵を出し合いながら取り組み、一人では解決が難しいことでもチームの仲間に得意分野や専門性を発揮してもらったり、助けてもらいながら進めるようにしています。そして、それらの皆さんと一緒に取り組む中で、人としての大切な事や必要な事を学び、人生を歩んでいます。

しかし、夏休みでは、日常の仕事や組織から少し距離を置いたり、別な角度から過ごすことが多くあります。自分一人の時間が増え、離れているからこそ、見えてくる大切な事に気付くこともあります。同じ景色を見ても、夏休みに自分と向き合う時間の中で見る風景は、普段に見ている物と見え方が違うと感じる時があります。見ようとする物、見たい物も違うのかもしれませんが、人は人の中で成長するものですが、同時に、人は一人自分自身と向き合っ対話しながら自立していく存在だと思ひます。その意味で、一人になる時間は、大変に意味のあるものだと思います。

夏休みの成果の如何は、生徒それぞれではありますが、夏休み自体が貴重であり、自分を見つめる絶好の機会だと思います。普段の学校生活では、多くの仲間や集団の中で、授業や学校行事、委員会活動、部活動などに取り組み、さまざまな事を吸収し、成長しています。しかし、夏休みのように、その集団から少し離れ、一人の時間を持ち、別な角度から自分を見つめていくことも大切なはずで、独力で学ぶことも集団で学ぶことも、人間は両方必要で、その両者を行ったり来たりする中で、自分らしさに気付いたり、自分らしく成長できると思ひます。

タイトルの“Be Myself”は、「自分らしく」という意味です。この夏休み、一人の時間をどう過ごしたか、仲間や家族との時間をどう過ごしたか、・・・成長期の皆さんは大切なことですね。それぞれ夏休みを振り返り、自分らしく成長していくためのステップとして、次につなげてください。きっと、3年生は自分の進路に向かってそれぞれが有意義な時間を過ごしたと思ひます。そして、2年生は夏季学園を経験し、3年生からのバトンを受け取って御成門中を引っぱって行く存在としての成長を、1年生は中学生としての学習意欲とたくましい行動力が身に付いていることを期待しています。

今日から2学期の始まりです。9月は3年生の修学旅行、2年生の職場体験が間近に迫り、10月に中間考査や合唱コンクールへと続きます。42日間の休みが明け、また全校生徒と毎日元気よく活気に満ちた学校生活を送れることをとても楽しみにしています。2学期も共に頑張りましょう。

